



こんにちは

村田 けい子 です

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。


移動事務所 090-9144-8534

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868

2022.10.21

No 374

「早く5万円ほしいです」アンケートの返信届く

10. 12臨時議会で補正予算決まる。先日全会一致で可決した補正予算の主な内容は
- 1, 保育園・小中学校給食費無償化(1,084.8万円)・・・保育園幼児保護者の負担軽減 115万円、小学校743.2万円、中学校501.5万円の食材費相当分 
 - 2, 非課税世帯に5万円給付(4,096万円)・・・800件分予算化(事務費は96万円)
4月1日以降の家計急変世帯も。 国の「電気・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金を使い
 - 3, 西塩沢住宅団地造成のための電柱移設に100万円予算化。

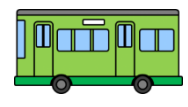
今回の予算措置は国の臨時交付金3466.8万円を使って事業化されたものです。

【今後の事業展開】

- ①国の対象にならない世帯（住民税の所得割非課税世帯や4月1日以降同水準に家計が落ち込んだ世帯）に、**県が1世帯3万円を支給する事業**も行われます。
- ②全世帯に・・・ 仮）「たてしな」あつたか**燃料券配布事業**・・・3,339万円（国の臨時交付金で）
- ③交通事業者に・・・地域公共交通燃料価格高騰対策として（国の臨時交付金で）

●バス事業者

基本額30万円+3万円×事業用車両数...上限45万円 1事業者



●タクシー事業者

基本額30万円+2万円×事業用車両数 ...上限40万円 3事業者(デマンドタクシー、福祉輸送限定事業者も)

畠にナラタケ！



松茸！ 香りの王様

📷
今季のパチリ！

ナ・ナント、突然、我が家の畑のあちこちにキノコ！農ん喜村でやっていたキノコ鑑定会にもって行って調べてもらったら「ナラタケ」とか。ぞっくりと生えているので籠に一杯取って持ち帰り、さっそく味噌汁に入れ、キノコの炊き込み、酢醤油でいただきました。ナラタケはそんなにおいしくはないけれど、量はたくさん穫れるので、あちこちにお裾分けしました。ホント珍しいこと。不思議です。

「今年は届かないねえ」など勝手なことを言っていた松茸！ついに届きまして、焼いて醤油を垂らしていただき、その香りと食感を楽しみ、翌日はお吸い物にして味わいました。今年はいつまでも暑い日が続いたかとおもったら急に冷え込んで、キノコもいつ出たらいいか迷っていたみたいです。夫の石友達が、佐久穂からわざわざ届けてくださいました。深謝！深謝！

【岐阜県可児市に視察研修】10. 6(木)
可児市 人口10万人超え(内、外国人7,800人)
市の木/黒松 花/バラ/サツキ 焼き物が盛ん、
人口は増えていて活気のある町/明智光秀生誕の地で
「NHKドラマ「麒麟が来る」で活気づく。
予算規模は298億5千万円と当町の6倍弱、

議員定数は22人(1人欠) 議会事務局は6人
9会派 党議員2名

私たちの視察項目は

- ①高校生議会について
- ②子育て支援について
- ③いじめ防止条例について

●平成26年
若い世代の意見を聴く機会
をどう設けるのか意見交換・
意見書にまとめる。
職員15、議員16、大学生2、
高校生24人が参加

●平成27年
「子育て支援」をテーマ
市長・職員8、議員21、子育て
支援10、高校生24
意見交換し意見書採択

●平成28年
キャリア教育活動について
市長、職員4名 議員22 支援団体
13、高校生29
意見交換し意見書採択

●平成29年
行政事務をグループに分かれて議
論し、議場で発表
市長、職員、議員、支援団体13
高校生29

模擬選挙 平成28年から取り組む
・市職員3名を「仮の市長選挙候補者」として、
高校生と一緒に政策内容、選挙広報、ポス
ターデザインなどを検討。
・議員による趣旨説明、候補者3名による立会
演説会、1、2年生全員が6人程度グループに
分かれmanifestoの検証。
・本番同様の投票用紙等を使って模擬投票
・生徒による開票。

大きく3点でした。

「高校生議会等」に取り組むきっかけは？

A 議会は…大学進学・就職などにより貴重な人材が市外へ
流出していることが課題であり、高校生のうちから地元とつ
ながってもらわなければならないことがあったこと。

地域の様々な職業や経験ある大人と接する機会を設け、地
域に対する愛着や主権者意識、様々な地域の課題解決に必要な
広い視野や専門性を身に付け、可児市を担ってもらおう人にな
ってもらおうと考えたこと。

高校側として「地域課題解決型キャリア教育」として課題
を発見し、解決能力の向上」のためにも地域課題について考
え、それを発表、訴える場が必要であったので、議会と高校
と方向性が合致し実現へ向かった。とのこと

地域課題懇談会...高校生と一緒に

平成26年 テーマ「健康づくり」
医師会長の講演会とテーマに沿った意見交換
職員11 議員19 医師9 高校生23

平成27年 テーマ
「どんな街に住みたいか、自分にできること」
議員17、金融協会13 高校生66
〈市内の3つの高校に呼び掛け〉

平成28年 『可児の担い手づくり～企業が求める人材・
高校生が求める企業～』
議員20、商工会議所21 高校生58

令和4年 コロナ下でもあり、高校生のグループが研究し
ている3つのプロジェクトについての発表

- ①「環境」...給水スポットを増やしてペットボトルの削減に。
- ②「教育・福祉」...福祉政策や子供のメンタルヘルス
- ③「可児市のブランディング」...Instagramで情報発信し、移住者への補助金制度などで移住促進を

上記の例からもわかるように、高校生だからと
言って子ども扱いせず、未来の可児市を担う担い手
として、地元課題を共有し、一緒に解決をめざして
議論することで本市に対する愛着や当事者意識を
持ってもらうことに繋がっています。模擬選挙も実際
の投票用紙、投票箱を使って行うなど可児市民とし
ての当事者意識を育てていました。

